

鹿児島県感染症情報

2022年 第14週報 (4月4日~4月10日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、4月10日時点での届出総数は50714例です。オミクロン株の派生型BA.2が新規感染の主体となることに加え、人の往来が盛んになる時期です。感染拡大防止対策には万全を期してください。さて、今回は新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスの相違点についてまとめてみました。

両方のウイルスは大きさも形もよく似ています。ともに直径が約100nmです。カプシドというタンパク質の中にゲノムが入ったウイルスです。また両方のウイルスともにカプシドがエンベロープという脂質膜で覆われています（2頁下図を参照）。このエンベロープはアルコールや石けんに弱いという特徴があります。

新型コロナウイルスの大きな特徴としては、無症状率の高さが上げられます。新型コロナウイルス感染症は潜伏期間が長く、一部は無症状のまま治癒しますが、無症状の時期にも強い感染力があります。新型コロナウイルス感染症の場合、症状のない状態でも既に多くの人にうつしている可能性があります。

	新型コロナウイルス感染症	インフルエンザ
症状の持続時間	2~3週間	3~7日
潜伏期間	2~14(平均5日)	1~4日(平均2日)
感染した場合の無症状率	数%~60%	10%

資料：日本感染症学会

表 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザとの違い

本県の手足口病の定点当たり報告数は、令和元年、令和2年、令和3年とも異なる形状で推移しています。令和3年の全国の動向をみると、報告数の上位は熊本県(130.88)、宮崎県(103.33)、鹿児島県(102.13)となっています。

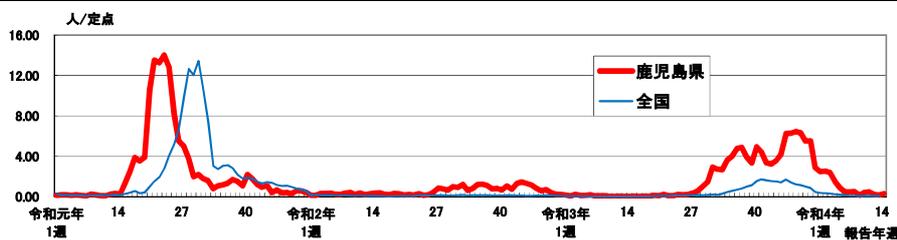


図 定点当たり報告数の推移（鹿児島県、全国）

と本県は全国の4.2倍で推移し、保健所別では、鹿児島市、出水、鹿屋の順に多い報告数でした。年齢別では、1歳(37.4%)、2歳(26.5%)、3歳(14.6%)の順に多く、3歳以下が全体の約85%を占めています。

令和3年の手足口病は、小児科定点医療機関から5515人(累積定点当たり報告数102.13)の報告があり、令和2年(1,597人)より3,918人多く、年間では第48週(6.44)が最も高値でした。

累積定点当たり報告数を見る

第14週の定点報告疾患の総報告数をみると、第12週以降、3週連続で流行発生警報域及び流行発生注意報域の疾患はありませんでした。手足口病は前週と比べ増加に転じました。今後の動向に注意が必要です。なお、全数報告疾患では梅毒が第9週以降連続で届出があり、第14週時点での届出数は38例となりました（前年56例）。

☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核3例(肺結核2例、腸結核1例) 追加結核4例：第7、9、11、13週(それぞれ1例)
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	A型肝炎、レジオネラ症1例
五類感染症	梅毒1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例 追加梅毒5例：第12週(2例)、第13週(3例)
新型コロナウイルス等感染症	新型コロナウイルス感染症4525例

☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点91、小児科定点53です。(通常より各1減)
- ・第14週の定点把握対象疾患の総報告数は360人で、前週より1人少ない報告数でした(4頁参照)。
- ・流行発生警報の基準値(開始基準値及び終息基準値)以上の保健所 該当なし
- ・流行発生注意報の基準値以上の保健所 該当なし

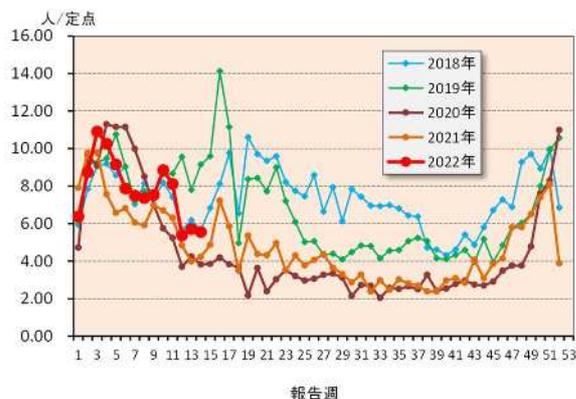
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第14週の感染性胃腸炎の報告数は294人で、前週より9人少なく、定点当たりの報告数は5.55であった。

年齢別では、1歳（59人）、3歳（48人）、2歳（46人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（13.08）、鹿屋保健所（7.20）、川薩保健所（5.25）の順に多い。

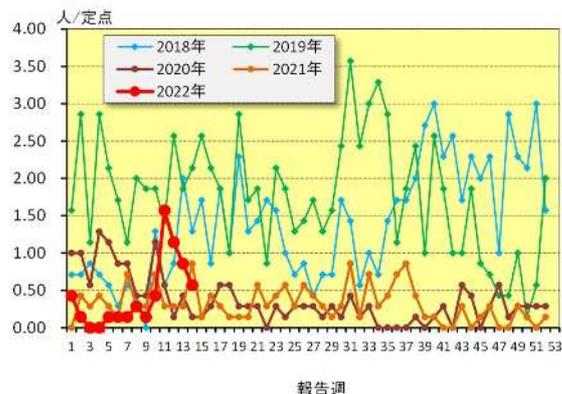


(2) 流行性角結膜炎

第14週の流行性角結膜炎の報告数は4人で、前週より2人少なく、定点当たりの報告数は0.57であった。

年齢別では、20～29歳、30～39歳、40～49歳、70歳以上（それぞれ1人）であった。

保健所別の定点当たり報告数は、川薩保健所、始良保健所（それぞれ1.00）、鹿児島市保健所（0.50）の順に多い。



(3) 手足口病

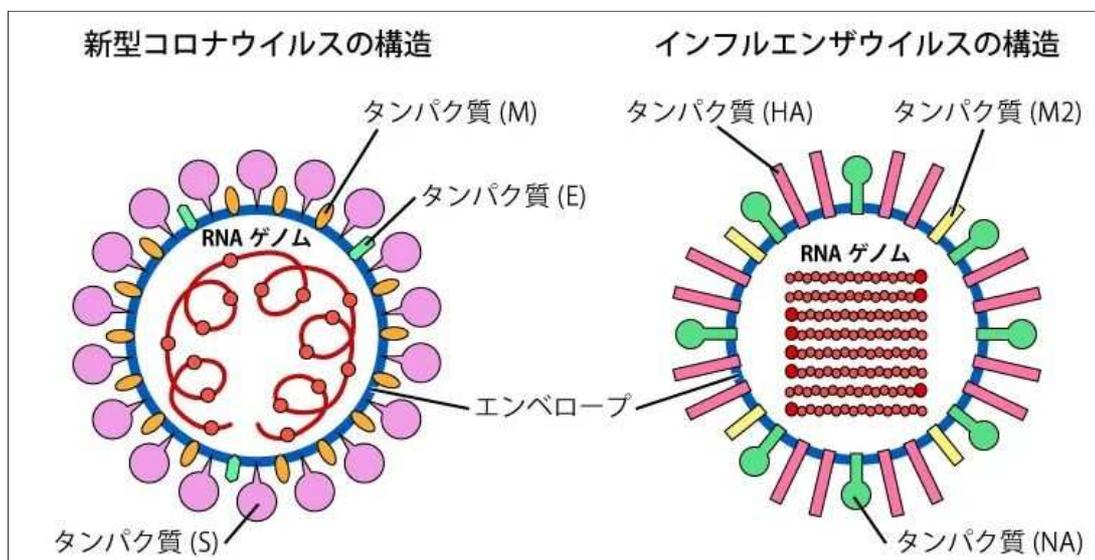
第14週の手足口病の報告数は16人で、前週より7人多く、定点当たりの報告数は0.30であった。

年齢別では、1歳（10人）、2歳（3人）、0～5ヶ月、6～11ヶ月、3歳（それぞれ1人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所（1.00）、鹿児島市保健所（0.69）、指宿保健所（0.50）の順に多い。

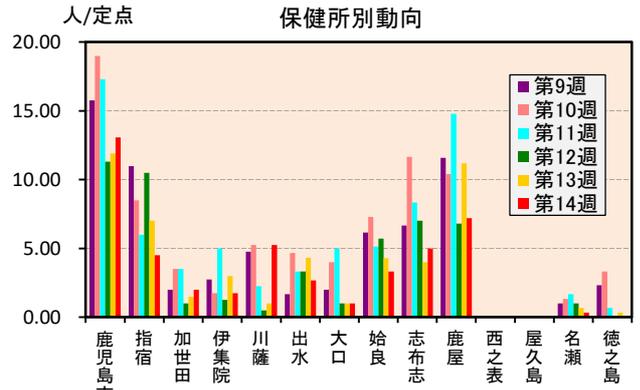
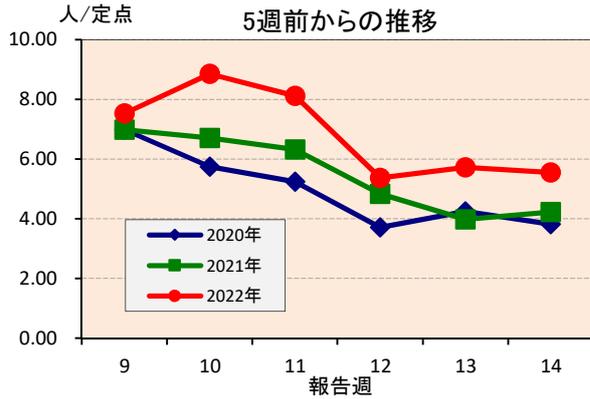


【新型コロナウイルス感染症関連情報】

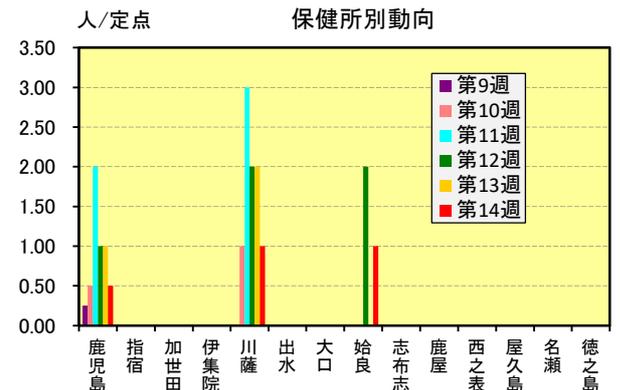
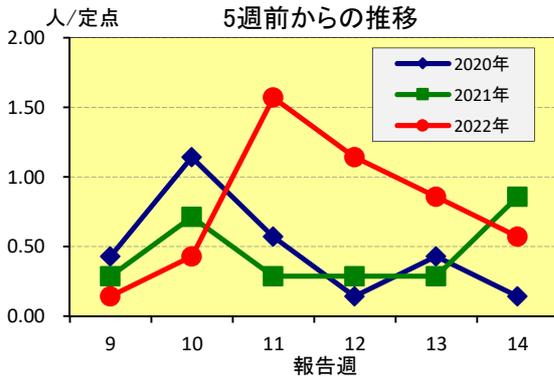


上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

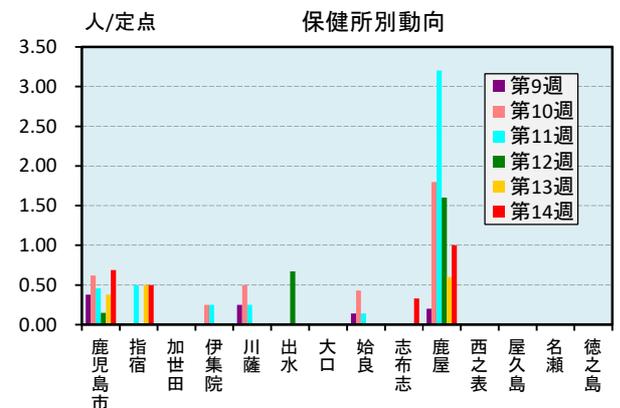
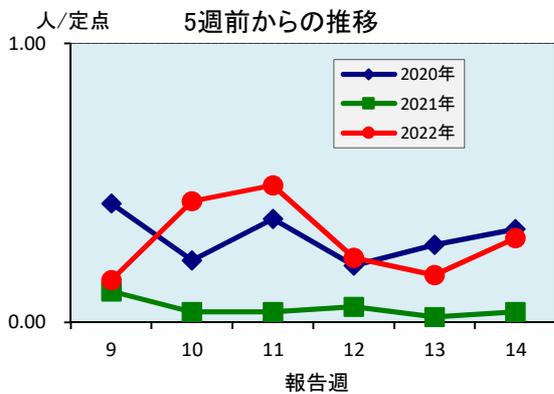
(1) 感染性胃腸炎



(2) 流行性角結膜炎

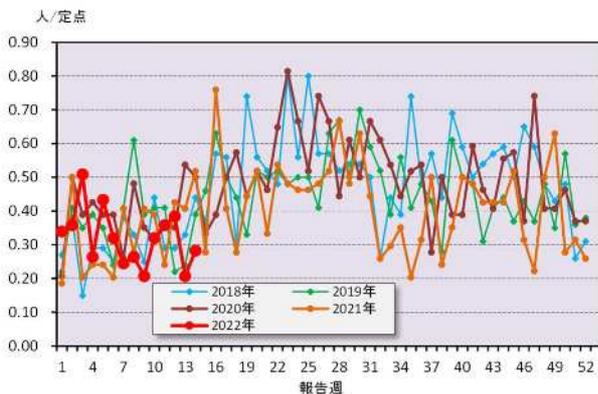


(3) 手足口病

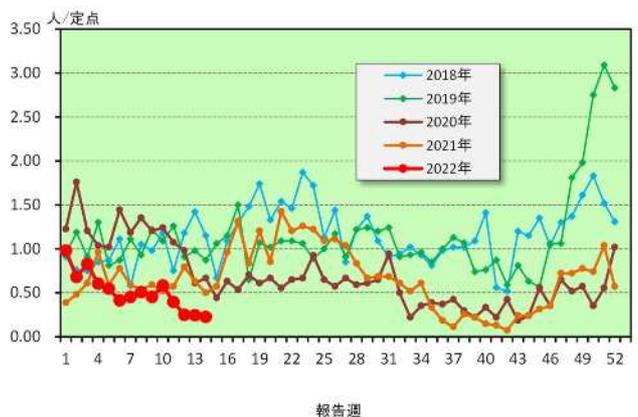


☆注目される感染症の発生状況

★ 突発性発しん（鹿児島県）



★ 咽頭結膜熱（鹿児島県）



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第14週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	11
小児科定点	咽頭結膜熱	12	0.23	380
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.09	321
	感染性胃腸炎	294	5.55	5,786
	○ 水痘	7	0.13	74
	○ 手足口病	16	0.30	691
	○ 伝染性紅斑	2	0.04	10
	○ 突発性発しん	15	0.28	238
	ヘルパンギーナ	-	-	63
	流行性耳下腺炎	1	0.02	26
	○ RSウイルス感染症	4	0.08	671
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	流行性角結膜炎	4	0.57	42
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	1
	無菌性髄膜炎	-	-	3
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	2
報告数合計		360	0	8,319

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2022年9週)	4週前 (2022年10週)	3週前 (2022年11週)	2週前 (2022年12週)	1週前 (2022年13週)	今週 (2022年14週)
インフルエンザ	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告数	21	22	22	3	1	4
	定点当り	0.40	0.42	0.42	0.06	0.02	0.08
咽頭結膜熱	報告数	24	31	21	13	13	12
	定点当り	0.45	0.58	0.40	0.25	0.25	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	16	12	14	13	10	5
	定点当り	0.30	0.23	0.26	0.25	0.19	0.09
感染性胃腸炎	報告数	399	469	430	279	303	294
	定点当り	7.53	8.85	8.11	5.37	5.72	5.55
水痘	報告数	6	-	11	3	4	7
	定点当り	0.11	-	0.21	0.06	0.08	0.13
手足口病	報告数	8	23	26	12	9	16
	定点当り	0.15	0.43	0.49	0.23	0.17	0.30
伝染性紅斑	報告数	-	-	-	1	-	2
	定点当り	-	-	-	0.02	-	0.04
突発性発しん	報告数	11	17	19	20	11	15
	定点当り	0.21	0.32	0.36	0.38	0.21	0.28
ヘルパンギーナ	報告数	-	2	1	3	2	-
	定点当り	-	0.04	0.02	0.06	0.04	-
流行性耳下腺炎	報告数	1	1	3	1	2	1
	定点当り	0.02	0.02	0.06	0.02	0.04	0.02
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	1	3	11	8	6	4
	定点当り	0.14	0.43	1.57	1.14	0.86	0.57
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	1	-	-	-
	定点当り	-	-	0.08	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2022年14週(04月04日～04月10日)

総数	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンカ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿児島市	0	0.00	4	0.08	12	0.23	5	0.09	294	5.55	7	0.13	16	0.30	2	0.04	15	0.28
指宿	-	-	4	0.31	3	0.23	2	0.15	170	13.08	4	0.31	9	0.69	-	-	8	0.62
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	9	4.50	-	-	1	0.50	-	-	1	0.50
伊集院	-	-	-	-	3	0.75	1	0.25	6	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	2	0.67	-	-	21	5.25	1	0.25	-	-	1	0.25	1	0.25
出水	-	-	-	-	2	0.67	1	0.33	8	2.67	1	0.33	-	-	-	-	1	0.33
大口	-	-	-	-	1	0.17	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	1	0.33	-	-	20	3.33	1	0.17	-	-	-	-	1	0.17
志布志	-	-	-	-	2	0.40	-	-	15	5.00	-	-	1	0.33	-	-	1	0.33
鹿屋	-	-	-	-	-	-	-	-	36	7.20	-	-	5	1.00	1	0.20	1	0.20
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

総数	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真性名含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム類は除く)		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿児島市	0	0.00	1	0.02	0	0.00	4	0.57	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
指宿	-	-	-	-	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

